

地球温暖化時代の暮らしを
市民・行政それぞれの立場から考えるシンポジウム



温暖化豪雨時代の 危機と流域の暮らし

2014年 **1月26日** (日) 13:30~16:00 (開場13:00)

地域防災施設 **鶴見川流域センター** 1Fコミュニティルーム

近年、鶴見川流域では大きな水害もなく、鶴見川がかつて「暴れ川」だったと認識する人も少なくなってきました。しかし、水害の危険がなくなったわけではありません。また、遠くの地域の出来事とされている地球温暖化や、IPCC*で報告されている海面上昇は、じつは身近な水害として私たちの生活を脅かす存在なのです。

温暖化適応策としての総合治水の新たな展開について、行政、市民それぞれの立場から考えます。

*IPCCとは? Intergovernmental Panel on Climate Change (気候変動に関する政府間パネル)

国際的な専門家で組織された地球温暖化についての科学的な研究の収集、整理のための政府間機構。平成19年ノーベル平和賞を受賞。平成25年9月現在、最新評価である第5次評価報告書第1作業部会報告書が公表されている。

IPCC第38回総会 平成26年3月、横浜で開催! (日本初)

●参加費:無料 ●友の会ポイント:2ポイント ●定員:80名(定員になり次第締切)
お申込みはNPO法人鶴見川流域ネットワーク事務局へお電話(045-546-4337)で。
または、裏面に必要事項をご記入の上、FAXしてください。

第1部 行政・市民団体からの報告

- ・温暖化豪雨と海面上昇の時代が始まる
... 岸 由二氏(慶應義塾大学名誉教授)
- ・IPCC横浜開催にむけて
... 林 総氏(横浜市温暖化対策統括本部調整課企画担当課長)
- ・鶴見川流域における総合治水の現状
... 船橋 昇治氏(国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所長)
- ・市民団体の実践
... ドラゴンウォッチの会

... 休憩 ...

第2部 シンポジウム『市民はこの時代にどう対応してゆくか』

- パネリスト
第1部参加者、鶴見川流域水マスタープラン(水マス)推進サポーター
- コーディネーター
岸 由二氏(慶應義塾大学名誉教授)

主催:鶴見川流域水協議会
(国土交通省関東地方整備局・東京都・神奈川県・横浜市・川崎市・町田市・稲城市)
共催:連携鶴見川流域ネットワーク

横浜市温暖化対策統括本部
「横浜で地球を学ぼう」~18区 de YES!~
参加イベント



地域防災施設
鶴見川流域センター

鶴見川流域センター イベント 検索

TEL: 045-475-1998 FAX: 045-475-1999

開館: 10:00 ~ 17:00 休館: 毎週火曜日

<http://www.keihin.ktr.mlit.go.jp/tsurumi/>
waku2tsurumi@ktr.mlit.go.jp

〒222-0036 横浜市港北区小机町 208 1



鶴見川の流域はバクの形





FAX: 045-546-4344

(NPO法人鶴見川流域ネットワーク事務局 行)

2014年1月26日(日)

地球温暖化時代のくらしを市民・行政それぞれの立場から考えるシンポジウム

温暖化豪雨時代の危機と流域のくらし

参加申込書

申込者氏名	
住所	
電話番号	
FAX	

参加者名簿

参加をご希望の方全てのお名前をご記入下さい。

氏 名

※参加に伴う個人情報の取り扱いにつきましては、本企画の実施に限り使用させていただきます。